



< 記憶の抹殺 > に抗って

～パレスチナの女性たちが紡ぐ文化と歴史～

2024年 6月8日【土】

13:45-17:40 (開場13:30)

プログラム

第1部： 映画上映 13:45～15:40

古居みずえ監督作品

『ガーダ・パレスチナの詩』

古居みずえ監督が17年に渡って取材を続けたガーダ・アギールという女性の半生を描いたドキュメンタリー映画。ガーダは古くからの慣習が残るガザ地区で自立を模索し、自分らしい生き方を貫いていく。また、パレスチナの人々が故郷を追われた<ナクバ>の経験を残すために、祖母の年代の女性たちへの聞き書きを始める。この映画には、古居監督がパレスチナ人女性たちの社会の中に深く入り込んで撮影した貴重な映像が収められている。(2005年/106分/日本/全編日本語字幕付き)

第2部： 講演 16:00～17:40

< 記憶の抹殺 > に抗って

～パレスチナの女性たちが紡ぐ文化と歴史～

2023年10月からパレスチナ・ガザ地区で始まったイスラエルによる軍事侵攻によって、死者は30000人を超えた。そのうち70%が子どもや女性と言われている(2024年3月1日現在)。なぜ、このような悲惨な状況が起きてしまっているのか。中東地域およびパレスチナ文化を研究する広島市立大学准教授の田浪亜央江さんより、「入植者植民地主義」の概念から見るパレスチナ/イスラエルの歴史と現在についてお話しいただく。



(c)2005 安岡フィルムズ/アジアプレス・インターナショナル

講師

田浪 亜央江 さん

Tanami Aoe

広島市立大学准教授

中東地域研究、パレスチナ文化研究。学部在学中にシリア・ダマスカス大学、大学院在籍中にイスラエル・ハイファ大学留学。2017年より広島市立大学国際学部准教授。著書『〈不在者〉たちのイスラエル 占領文化とパレスチナ』(インパクト出版会)、共訳書『パレスチナの民族浄化 イスラエル建国の暴力』(法政大学出版局)。



会場 すてっぷホール 阪急電鉄宝塚線豊中駅直結「エトレ豊中」ビル5階

参加費 1,000円 (現地支払)

定員 先着150名 (申込不要)



一時保育 1歳～小学3年生/子ども一人につき、1部、2部各550円(税込)

申込期限 6/1(土) 15:00 上記フォームより

情報保障について：

手話通訳を希望される方は10日前の5月28日(火)までにお申込ください。

UDトークによる文字通訳あり。

問合せ ppp.maqluba@gmail.com 090-4033-1376 (松岡)

主催： パレスチナとつながる写真展PROJECT「マクルーバ」
戦争法廃止！豊中市民アクション

協賛： とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

指定管理者 一般社団法人とよなか男女共同参画推進財団

